

[補足説明]

科目：数学

(全体にかかわる補足)

問題文において、特にことわりのない限り、式や関数に現れる数や文字、方程式や不等式の解については、虚数を考えず、実数の範囲内で考えるものとし、また解の個数は異なる解の個数を意味する。

(p.51 への補足)

IV (2) 横軸を t 軸、縦軸を y 軸とする ty 平面で考えること。